

平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

平成 25 年度の当協会の事業等について報告いたします。

1 会員の状況

正会員 11 社 (前年度末比－1 社)

退会 (株)ジェイアール東海ホテルズ

賛助会員 25 社 (前年度末比±0 社)

入会 (株)ALIVE 退会 アール・シー・アイ・ジャパン(株)

2 理事会・総会の開催

- 1 平成 25 年 5 月 22 日(水)東京都渋谷区のリゾートトラスト東京ビル会議室にて、本年度第 1 回理事会並びに一般社団法人として第 1 回通常総会を開催。

理事会議題 1 平成 24 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

2 平成 25 年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件

総会議題 1 平成 24 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

2 平成 25 年度事業計画並びに収支予算案審議承認の件

3 新会員 (株)ヴィラ北軽井沢、(株)ALIVE) 追認の件

総会終了後開催された懇親パーティには、総会に出席した会員各社及び役員、さらにご来賓として経済産業省商務情報政策局吉田耕一郎参事官他 1 名、顧問弁護士須藤正彦先生にもご出席いただきました。

- 2 平成 25 年 7 月 8 日 (月) 東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、第 2 回理事会を開催。

理事会議題 1 高崎能紀氏の副会長辞任に伴う新副会長選任の件

- 3 平成 26 年 1 月 22 日(水)東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 3 回理事会を開催。

理事会議題 1 平成 25 年度 12 月末までの事業報告と収支状況の報告

2 新年度役員改選のため、役員人事方針協議の件

3 新年度事業計画大綱検討の件

4 リゾネットシステム協定変更の件

理事会終了後、東京ベイコート倶楽部グラウンドボールルームにて平成 26 年賀詞交歓会を開催しました。経済産業省商務情報政策局生活文化創造産業課重岡智宏様他 1 名を含め、72 名の理事、監事、正会員、賛助会員にご出席いただきました。

3 協会の各種事業について

(1) 調査研究事業

1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、㈱ダイヤモンドソサエティのダイヤモンド滋賀、㈱萬代のオテル・ド・マロニエ下呂温泉さらに㈱ジェイアール東海ホテルズのホテルアソシア高山リゾートを訪問・見学し、ホームページに掲載しました。

今年度は、ヴィラ北軽井沢エルウィング及びナクアリゾーツクラブのオリビアン小豆島を訪問見学し、その地域の歴史等魅力を大谷理事の手助けによりホームページに掲載しました。

(2) 研修会・セミナー事業

1 スタッフ研修会

12月4日（水）東京都新宿区のサンメンバーズ東京新宿のコンベンションホールで開催。今回はあらゆる職場において発生する「人間関係のあり方」「問題解決のコツを学ぶ」ことを目的に、問題解決力とコミュニケーション能力の向上を目指す趣旨のもの。5社19名の参加でグループワーク中心の研修を実施し、4時間半の研修があつという間に終わってしまった感じの密度の濃い研修内容でした。講師はアクティブプラス㈱の石月基樹先生でした。

2 支配人研修会

2月25日（火）～26日（水）リゾートトラスト㈱のエキシブ琵琶湖にて、「個と組織を活性化するためのリーダーシップ・コミュニケーション力の強化」というテーマで、ホテルの支配人及びそれに準ずる方々を対象に開催。講師は、スタッフ研修会と同じアクティブプラス㈱の石月先生で、これも出席したメンバーから良かったとの声が多数寄せられた研修会でした。参加者は5社23名でした。

(3) 情報の収集と提供事業

1 ホームページによる情報提供について

イ ホームページの更新

大谷理事を中心にホームページを盛り上げております。閲覧数を増やすため、極力更新頻度を上げ、共催イベントのご案内、日銀短観や木村讃前常務理事のコラム等ホームページ情報を随時更新しております。さらに前年に続き、「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問のレポートを大谷理事に執筆をお願いし掲載しました。又、消費者相談事業の一環として、今回は悪質な会員権仲介業者への注意喚起と「海外タイムシェアの契約は慎重に」という国民生活センターからの報道発表を掲載・リンクしました。

ロ 協会ホームページへのアクセス数

4月	1,922	8月	2,728	12月	2,117
5月	2,164	9月	2,628	1月	2,603
6月	2,265	10月	2,209	2月	2,474
7月	2,490	11月	2,824	3月	2,366

一昨年 4 月半ばから新ホームページをアップロードしましたが、統計対象サイト上では前年と比べて約 1 万 5 百件増加の 2 万 8,790 回でした。ホームページのカウンター上では、約 7 万 5 千回になっております。

2 クラブとの共催イベントの実施

今年度も紀州鉄道の協力を得て、実施いたしました。

＊ 6 月 18 日（火）～20 日（木）

「函館の歴史と文化とグルメの旅」と題する紀鉄クラブとの共催イベント。
参加者は 24 名でした。（内 他クラブからの参加者はなし）

＊ 12 月 13 日（金）

「大江戸線沿線散歩第 1 回」と題する紀鉄クラブとの共催イベント。
飯田橋駅に集合し、小石川後樂園から徒歩でその沿線周辺を巡り、春日駅までのコースでした。
参加者は 13 名でした。（内 他クラブからの参加者はなし）

＊ 1 月 17 日（金）

「大江戸線沿線散歩第 2 回」と題する紀鉄クラブとの共催イベント。
大江戸線「牛込神楽坂」駅に集合し、宮城道雄記念館から神楽坂横町を散策し最後に善国寺毘沙門天までのコースでした。参加者は 16 名で他クラブからの参加者は 1 名（鴨川リゾートクラブ）でした。

（４） リゾネット・ジョイネット事業

1 リゾネット事業について

25 年度のリゾネット参加施設は 12 社、国内 26 施設（±0）でスタート。前期末にパンフレット 24,200 部（前年度比－3,800 部）を配布済。受入施設の変更が、紀鉄クラブのドギーホテル蔵王（山中プリンスホテル）、セラヴィリゾート泉郷の鳥羽ワンワンパラダイス（ホテルアルティア鳥羽）、マロニエクラブのオテル・ド・マロニエ湯の山温泉（オテル・ド・マロニエ内海温泉）の 3 施設ありました。これで愛犬と泊まれるホテルが 2 施設増え、ダイヤモンドのドギーズパーク箱根を加えて 3 施設になりました。

本年度の利用者数は、前年度は大震災の反動で若干戻したのですが、年度末近くの大雪の影響等もあり、11.7%の減少という実績推移でした。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	62	8月	230	12月	57
5月	106	9月	126	1月	51
6月	49	10月	117	2月	55
7月	176	11月	124	3月	40

本年度の利用者数合計 1,193 名（前年同期比 -11.7%）

前年同期利用者数合計 1,351 名

現状で送客の多いクラブは鴨川リゾートクラブ、セラヴィリゾート泉郷、紀鉄クラブ、東京レジャーライフクラブ、マグナリゾートクラブで、受入の多い施設は、ヴィラ北軽井沢エルウィング、ホテルエピナール那須、伊東パウエル、ホテルアンビエント安曇野、リゾーピア熱海の順になっております。

2 ジョイネット事業について

ジョイネット事業については現状維持で、パンフレットは作成せず、ホームページのみの掲載で実施しています。

提携施設数は、合計 132 施設（前年比－8）となっております。

シティホテル	88	（前年比	±0）
ビジネスホテル	25	（	〃 ±0）
ゴルフ場	17	（	〃 －8）
その他	2	（	〃 ±0）
合 計	132		

その他、ゴルフ場オンライン予約、海外航空券ネット予約の提携があります。ジョイネットに関しては、現在のネット社会ではすでに陳腐化して利用する人も少ないと思われるため、リゾネット協議会のなかで存廃を協議し、理事会に諮る予定。

（５） 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりです。

今年度の特徴としては、特定の会社の会員権の処分についての相談が増加しました。会員権を購入して 20 年以上経過した会員の高齢化や病気に伴うものが多く、リゾート事業運営会社としても今後ますます頭を悩ませる問題となりそうです。また、リゾート会員権の仲介業者に関する相談もありました。その他、海外タイムシェアに関する問い合わせもあり、国民生活センターとの情報交換から、ホームページに国民生活センターからの報道発表資料の掲載も実施しました。相談者の内訳は、個人の方からが 50%、法人並びに消費者センター（国民生活センターを含む）がそれぞれ 25%でした。

4 その他の事項

4月22日(月)、4月26日(金) 平成24年度の会計監査(佐藤監事・朽本監事)を実施。

6月12日(水) 経済産業省へ「平成24年度の事業報告、収支決算報告、平成25年度の事業計画、収支予算」を提出。

10月25日(金) 本年度上期の会計監査を実施。(佐藤茂監事)

以上